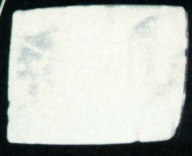


DAVID BOWIE

in Nicolas Roeg's film

THE MAN WHO FELL
TO EARTH



宇宙のかなたから
はかり知れない衝撃をもって
ひとりの男が来た...

地球に落ちて来た男

イーストマンカラー ■ パナビジョン

デビッド・ボウイ
リップ・トーン
キャンディ・クラーク
バック・ヘンリー

製作 マイケル・ティラー / バリー・スピキングス
監督 ニコラス・ローグ / 原作 ウォルター・テヴィス
音楽 ジョン・フィリップス / コロムビア映画



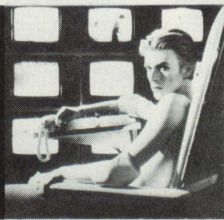
THE MAN
WHO FELL
TO EARTH

地球に落ちて来た男

イーストマンカラー
パナビジョン
コロムビア映画

●驚異！凄絶！これが話題を呼ぶ強烈描写だ！！

■地球にやってくる宇宙人の知能は抜群だ。彼は一度に12台のテレビ番組を同時に見ることができる。ニュース、株式相場、CM、そして劇映画もすべて同時に。画面からは「第三の男」や「昼下りの情事」も放映される。これこそ、彼が地球の現状をいち早くキャッチする情報源らしい。



■彼の新発明は次々に世界の特許をとる。そのひとつが、女子学生と教授のSEXシーンに登場する特殊ボラロイド・カメラだ。相手のエクスタシーの表情を、女子学生が撮りまくったあと、フィルムをとりだすと、なんと自分のあらゆるポーズまでが連続で写っているという、異角度カメラがそれ。



■彼の本当の姿は人間に似ているが、髪の毛も全くなく、肌は粘液状で土色に光る。従って宇宙人同志のSEXは、互いにベトベト、ヌルヌルで飽く事がなく、ナメクジのよう。そんな彼と地球の恋人との交わりは？



■彼は地球人に変装しているが、時々鏡に写る自分の顔を見つめる。その鏡の横にもう一枚の鏡。そこには彼の目だけがアップで写っている。その目に、彼はいきなりピンセットをたて、目の玉をひっぱがす…その下には？



このシーンはまさに想像を絶する姿が白日のもとにさらされ、気の弱い人は失神の恐れも……

●ナウなタッチで迫る衝撃大作！

全く新しい感覚と鮮烈な衝撃で圧倒する映画「地球に落ちて来た男」。

大千魃に見まわれたある星から、水を求めて、ひとりの男が地球にやってくる。彼は、地球人には計り知れない高度な知能で、次々に驚異的発明をする。そして、そこにおこるさまざまな不可思議な出来事や、地球人との愛などを、ショッキングに描いた話題作である。宇宙人が主人公とはいえ、これは単なるSFではない。むしろ、たまたま主人公が宇宙人だったと考えた方が分り易く、それが生々しい現実感を伴って迫ってくる。

●想像を超えたショックと描写！

今までの映画とは違った強烈な描写が次々ととびだしてくるのも、この映画の特長だ。

宇宙人と地球人とのショッキング・セックス、奇想天外で思わず唸りたくなる新発明の数々、誰も想像できなかった宇宙人の本当の姿。ある時突然、地球人に扮していた男が、宇宙人に戻るシーンは、思わずアッと叫びたくなるほど強烈だ。主演の宇宙人には、ロック界のスーパースター、デビッド・ボウイが扮するが、彼の両性的個性は、まさに宇宙人のイメージにピッタリ。監督は俊オニコラス・ローグ。

●新しいフィーリングの音楽がいっぱい！

全篇に流れる神秘的な音楽が、この映画のムードをより一層高めている。これは、今や世界的に有名なパーカッショニスト、ツトム・ヤマシタが全力をあげてとりくんだもので、「メモリー・オブ・ヒロシマ」を始め6曲が挿入されている。他に「スターダスト」や「トライ・トウ・リメンバー」など、有名なポピュラー・ナンバーが随所に効果的に使われていて、それがまたかえってナウなタッチとフィーリングをかもしだしている。

近日ロードショー

地下鉄東銀座駅下車 (541)
東 劇 2711

伊勢丹斜め向 (356)
新宿京王 3518

●特別鑑賞券 ¥ 1000 (一般 ¥ 1300・大学 ¥ 1100のところ) 劇場窓口にて発売中！